

みよちゃん

初回の「もったいない市」を開催したのが二〇二一年十一月三日、昨年の十二月の開催で五回目になりました。

「もったいない市」の第一回目を開催した当時は世の中はコロナ禍で、みんなが人との接触を減らして家で過ごす時間が多い時期でした。同時に私は長年自分を悩ませていた体調不良の原因が分かり、落ち込んで寝て過ごした期間を取り返したいと自分がやりたい事を模索していた時期でした。

当時は御代田町に移住してわずかであり、知り合いも少なく、これと言ったスキルがあるわけでもなく、こんな私ができる事はなんでしょうかと考えていたところ、あるものを有効利用したらどうかと思ひ、形が悪いからと廃棄される食べ物やまだ使えるのに捨てられる物を集めて欲しい人に繋げるのはいかがでしょうかというアイデアが一つ目、近所の小学校でマスクを作っていたら他の小物を作るのもハマり、小学生のレベルを超えたような女の子を見て、他にもこういう子ども達がいるのではないかと、子ども達の才能発揮の場を設けようというアイデアが二つ目、最後は子どもだけではなく、

「もったいない市」第五回を終えて

高松里枝



大人でみんなに知ってほしいような特技をお持ちの方、障がいがあっても自分ができる事で社会に参加されている方の力も集めたいという思いが三つ目、これら全てを集めたのが「もったいない市」です。

たった一日限りのイベントではありますが、多い年で三〇〇人以上の方が来てくださった年もありました。

毎年イベントを開催して嬉しいう事、物を通じた人と人の繋がりを目の前で見られる事、笑顔や笑い声が絶えない会場という事に尽きます。リユースコーナーの商品を持ち帰る際には、お気持ちの金額を募金箱に入れていただき、そのお金はわずかですが、全額能登半島の復興支援に送らせていただいています。

始めはボランティア団体としての財源がほとんどなかったため、会場費を賄うためにリユースコーナーの入場料をいただいたりもしましたが、町の活動支援金や赤い羽根共同募金の助成金を活かしてより良い形で団体を続ける事ができています。

来年度も皆さんの「もったいない」を集めた活動を、続けて参ります。

御代田町社会福祉大会

これからの地域福祉活動の普及・推進を図る

講演テーマ

地域の支え合いを広げるためにできること
(認定NPO法人豊島こどもWAKUKUネットワーク)

大会アピール

人口減少・少子高齢化の進行と昨今における物価高騰の影響により、社会的孤立や生活困窮の課題が深刻さを増しています。また、こうした課題を背景とした「八〇五〇問題」、「ヤングケアラー」、「ダブルケア」などの生活課題も顕在化しています。



これらを踏まえて、御代田町では昨年三月に「第一次御代田町地域福祉計画」が策定され、「町民誰もが希望と安心の持てる地域づくり」という基本理念が掲げられて

ています。この理念に基づき、地域共生社会の実現や、「誰一人取り残さない社会」というSDGsの理念とも重ねながら、具体的な取り組みを進めていく必要があり、まずは地域住民の一人として、地域で繋がり支え合うことの大切さを認識していくことが求められています。



講師 栗林知絵子氏

そして、一人ひとりの日常生活の場面においても、楽しみや生きがいを高めていくことが「持続可能な地域づくり」に繋がっていくと考えています。

第四十七回御代田町社会福祉大会に集う私たちは、一人ひとりが支え合えることのできる「地域力」を高めていくことを目指して、地域のあらゆる方々と連携しながら、次に掲げる活動に取り組んでいきましょう。



(一) 地域住民の一人として地域の事を気にかけていきましよう！



地域福祉活動尽力者への表彰及び感謝状の伝達と長野県共同募金会からの感謝状の伝達



アピール文の朗読

福祉ニーズを抱える人たちは近隣住民のさりげない見守りや支え合いがあるからこそ、地域の中で繋がり安心して暮らすことができます。地域住民としてできることから支援活動を進めていきましょう。



手話通訳の皆さん



カゴはいつも人気

(二) 包括的な相談体制の構築に向け、連携と創意工夫に取り組みましょう！

高齢者、障がい者、こども、生活困窮者など、各福祉分野に重なる複合的な課題に対応するため、福祉関係者の連携を強化するとともに、保健、医療をはじめ、教育や就労など、多様な分野に連携を広げていきたいと思います。

(三) 子どもたちが地域社会に参加するしくみづくりを進めよう！

次代を担う子どもたちが、地域の一員として積極的に地域活動に参加できるようなしくみづくりを進めるとともに、子育て世帯が孤立することなく、安心して子育てや生活ができる環境づくりや地域づくりを目指し、住民と行政がそれぞれの役割を担い、御代田町全体で協働して取り組みましょう。



手話通訳の皆さん

枠内は当日のアンケートからの抜粋です。参加者 87 名
アンケート提出 45 名

人と人とのつながりが薄くなっていく昨今、高齢者や子どもの孤立が問題になってくると思っています。この講演を聴いて「放っておかない」意識を持って何か行動に繋がっていきたくと思いました。外国の方も増え、文化や年齢・世代を超えた交流の場が増えると思います。(五十七歳女性)

子ども食堂から地域の繋がりが生まれる事が参考になりました。(五十歳男性)

子どもをはじめ若者・高齢者の居場所・繋がりには本当に大事だと感じました。町にも、もっといろいろな居場所ができることが必要だと思います。第三の居場所で世代を超えた町民の皆さんが繋がる事が出来ればと思います。(女性)



手話通訳の皆さん



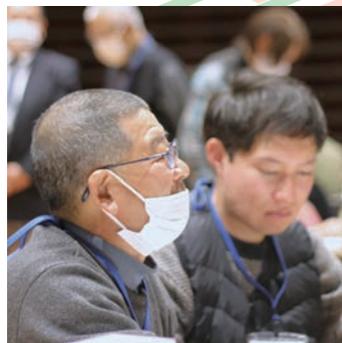
真剣に聴き入る

おせっかいから始まる行動力、すごいと思いました。思いが伝わってきました。(五十八歳女性)

豊島区の素晴らしい取り組みを知り、とても良かった。住民と行政をさらに様々な団体がそれぞれ同じ目標に向かって役割を担う事で協働していき、御代田らしい町づくりができれば素晴らしいと思いました。(六十六歳男性)

「第34回御代田町ボランティア地域活動の集い」を開催しました！

令和8年2月15日(日)「エコールみよた」にて、御代田町ボランティア地域活動連絡協議会が実行委員として「第34回御代田町ボランティア地域活動の集い」を開催しました。当日は春を感じさせる暖かい陽気となり、区長やサロン活動者をはじめとする総勢75名の方が参加されました。



高相美智子氏

近年、地域住民を主体とした「支えあうための仕組みづくり」や「人と人」、サロン活動等の地域福祉活動と地域住民がつながりを持つことが重要視されていることから、地域の中での居場所づくりを「わが事」として捉えることを目的に開催しました。



■■ 内容を少し紹介！ ■■

前段では山ノ内町つつみ住民活動センター運営委員会委員長の高相美智子氏をお招きし、山ノ内町わくわく商店街の事例報告をしていただきました。

また、「参加者に楽しんでもらうには、『自分たちボランティアも楽しむことが大切』で無理をしないこと」というメッセージを残されました。

後半では、「居場所事業の今とこれから～大作戦会議～」と題してグループワークを行い、参加者の思いを共有されました。



今回の記録をまとめ、情報発信を行っていきたく考えています。
※本集いは、赤い羽根共同募金配分金を活用して開催しました。

デイサービスの 収穫祭

昨年の秋にデイサービスにて収穫祭を開催しました。日頃から利用者の皆様と一緒に育てた野菜が実り、さつまいも・かぼちゃ・小豆を収穫することができました。

当日は収穫したさつまいもで焼き芋を行い、かぼちゃはほうとう汁に、小豆は小豆ごはんとしてお昼に提供しました。「おいしい」といった声が多く聞かれ、皆さん笑顔で召しあがっていました。



その他のイベントとして、職員による演奏やボランティアの皆さまによる踊りの披露もありました。途中からは職員も踊りに参加し、大いに盛り上がりました。今後も季節を感じながら、皆様に楽しんでいただける行事を大切にしていきます。



佐久 響太鼓体験

開講式

復習中

意見交換

みんなで折り紙作り

都道府県を覚えました。

令和7年度御代田町手話交流会

令和7年度ふれあいいきいきサロン交流会

令和7年12月7日（日）、ハートピアみよたにて「令和7年度サロン交流会」を開催しました。当日は多くのサロン活動者やボランティアが参加するとともに各地区で行われているサロン活動の内容や悩み等を共有する場となりました。



【サロン活動とは・・・】

平成6年に全国社会福祉協議会が「ふれあい・いきいきサロン」として提唱した活動で、地域の居場所であり、気軽に出かけて交流できる場とされています。町社協が把握している町内の活動は、20か所あります。



「災害時の協力に関する協定書」調印式

令和7年12月13日（土）、一般社団法人軽井沢青年会議所及び軽井沢町社会福祉協議会、御代田町社会福祉協議会の3者で、「災害時の協力に関する協定書」に調印しました。この協定により、災害時におけるボランティア支援の相互協力はもとより、平時においても、それぞれが行う研修や訓練などでも連携を図ることにより、有事に際しての防災・減災に繋がっていきます。



スタッフ大募集 !! 契約(パート)職員募集

【募集職種】

- ホームヘルパー又はデイサービス職員
- ・時給 1,200円～1,500円(令和8年度)
- ・賞与 年2回(契約により異なる)

【要資格】

- ・介護福祉士または介護職員初任者研修修了者
(ヘルパー2級以上)

【休日】

- ・週休2日制
- ・年間休日 119日(令和7年平均)
- ・年次有給休暇 6カ月経過後支給
- ・特別休暇(介護休暇、育児休暇、忌引休暇、ボランティア休暇、新型コロナウイルス感染症に係る特別休暇等)

詳しい募集内容等について知りたい方は、以下のQRコード又は下記のアドレスから。



▲町社協 Web ページ



▲職員募集ページ

【手当等待遇】

- ・資格手当 勤務時間により、上限 月 5,000円支給
- ・通勤手当 勤務日により、上限 月 16,600円支給
- ・扶養手当 1人 月 4,000円又は月 6,000円支給
- ・住居手当 上限月 28,000円支給
- ・夜勤手当 1時間 900円(22時から5時)
- ・その他 早朝・夜間手当、職場手当、職務手当
※ 手当については一定の要件があります。

【その他福利厚生】

- ・食堂等利用可(1食 350円)
- ・インフルエンザ予防接種等補助
- ・各種資格取得の補助

【私たちと一緒に、誰もが安心して暮らせる「地域づくり」を担いませんか? **介護職員を随時募集**していますので、お問い合わせください。

問い合わせ先：社会福祉法人御代田町社会福祉協議会
ハートピアみよた 総務係
問い合わせ時間：平日の8時30分～17時まで
☎ 0267-32-1100

寄付御礼

令和7年10月～令和8年1月
(順不同)

佐々木保子様
リクライニング車椅子一台
車椅子補助器一式
新納芳江様 金 10,000円
生命保険協会長野県協会様
車椅子二台
ゲートボール連盟様
金 5,000円
鈴木千代子様 金 30,000円
加藤商店様 金 30,000円
ななかまど様 金 14,000円
理容組合小北支部様
金 19,500円
匿名希望
ポータブルトイレ台
皆様のご厚情に感謝いたします。

令和7年度社協会費実績

一般会員	3,218 世帯
賛助会員	147 世帯
団体会員	2 世帯
特別会員	3 世帯
その他会員	4 世帯
=====	
合計	3,374 世帯
	3,702,500円

上記のうち、3,440,400円(約92%)を各地区社協活動費として助成いたしました。皆様から頂きました社協会費はそれぞれの地区における福祉活動を推進する財源となります。ご協力ありがとうございました。

令和7年度共同募金実績

戸別募金	2,942 件	1,480,141 円
個人大口	269 件	712,000 円
法人大口	94 件	491,000 円
職域募金	3 件	96,284 円
学校募金	3 件	10,147 円
イベント募金	1 件	1,947 円
その他募金	5 件	179,015 円
=====		
合計		2,970,534 円

ご協力いただき、ありがとうございました。頂戴した募金は、町内県内の地域福祉活動に活用されます。



社協だより
みよちゃん
No.106



発行日：令和8年3月10日
発行者：社会福祉法人御代田町社会福祉協議会
住所：御代田町大字御代田 1772 番地 1
ハートピアみよた
TEL：0267-32-1100
FAX：0267-32-1111
WEB：https://miyota-shakyo.sakura.ne.jp/



ボランティア便り

とらもろこし

発行 御代田ボランティア地域活動連絡協議会

No.90



ボランティア地域活動の集い

土屋昌良

二月十五日「エコールみよた」において、第三十四回ボランティア地域活動の集いが七十五名の参加で開催されました。この集いは、前回開催の集いで山ノ内町社協が行っている、買い物支援・居場所づくり・移送サービス等「わくわく商店街」について学習しました。

アンケートには、買い物支援を行いながら人が集う場が欲しい、実施するなら協力したい、という多くの意見をいただきました。話を聞いて終わるのでなく、行動を起こそうと、本年度事業計画に取り入れられました。

当町の現状は、買い物を中心は佐久市や小諸市、町内業者は減少、移動手段にも課題があり、公共ライドシェア実証運行が行われています。今団塊の世代全員が後期高齢者となる中、一人暮らし高齢者や孤立する高齢者が増え、健康寿命をどう伸ばすか、生き方と暮らし方が問われています。この事業を進める中で、昨年十二月にサロン交流会を開催しました。

今回は、それらを受け買い物支援を行いながら人が集う場をどのように行えば実現できるか、又サロン交流会で出た課題の解決を参加者が考えるワークショップを行いました。

今後ワークショップで出た意見を参考に、ボランティア地域活動連絡協議会として、地域住民として何が出来るか、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。今回のワークショップの内容はまとめて報告しますので、今後の活動に活かしていきたいと思えます。

(お問合せは町社協福祉係へ)



旭町シニアクラブごみ拾い活動

旭クラブは、年二〜三回区内のごみ拾い作業を行っています。

当区は町のメイン道路沿いにあり、駅も近く人や車の往来の多い地区です。そのため、食品の空き箱、ビニール袋、空き缶、タバコの吸殻等、沢山のゴミが捨てられています。

町施設のエコー、町役場やMOPもあり人が集まる場所なので、見苦しいゴミは目に付きます。

会員は皆さん年配で、足腰が痛いと言いながらもたまに会える仲間との作業にも頑張って参加して下さいますので感謝しています。

ゴミ袋が幾つもいっぱいになり、振り返ると綺麗になった道路を見ても清々しい気持ちになりました。その後みんなで町の移り変わり歴史の勉強会を行いました。



当区は他地区から移住された方も多く「町の美化活動もでき、この地区の事も知る、一石二鳥の良い企画だ」と言っています。今後も皆さんの活力の場となるよう、続けて行きたいと考えています。

クイズ 答えて消して 山口茂雄さん作

カギ文の答えの文字を、パネルから探して消しましょう。消さずに残ったカタカナを並び替えて答えてください。
ヒント> 子どもも大人も、お腹が空いたら来て〜



カ	ヨ	ン	ハ	ン	オ
パ	レ	ゴ	シ	ニ	ス
ウ	ゲ	ー	カ	イ	ク
マ	ケ	ド	ラ	ゼ	ア

カギ

1. 日本人の国民食
2. 御代田のうどんと言えば?
3. 給食で甘くて好評なパン
4. 炊き込みご飯と区別すると?

答え

--	--	--	--	--